



外務省委託

## 平和構築・開発における グローバル人材育成事業

Global Peacebuilders Program

(外務省委託事業)

「プライマリー・コース」

令和元年度日本人研修員

### 募集要項

本事業は、平和構築・開発分野で活躍できる人材を発掘・育成し、キャリア構築を支援することを目的として、外務省が実施している人材育成事業です。外務省の委託を受けて広島平和構築人材育成センター（Hiroshima Peacebuilders Center: HPC）が、海外実務研修を実施する国連ボランティア計画（United Nations Volunteers Programme: UNV）と連携し、事業を運営しています。

「プライマリー・コース」は、国際機関等を中心とする組織を通じて平和構築・開発分野でのキャリアを構築する強い意志を持った日本及び各国の研修員（日本人 15 名 外国人 10 名）を対象として、平和構築・開発の現場における実務能力を高めるための 5 週間の国内研修と、平和構築・開発の現場で活動する国際機関の現地事務所等で 1 年間の海外実務研修（日本人研修員のみ対象）の機会を提供するコースです。

このコースに参加する日本人研修員を次の要領で募集します。

#### 1. 研修期間

＜国内研修＞：令和 2 年（2020 年）1 月 22 日（水）～2 月 26 日（水）

＜海外実務研修＞：令和 2 年（2020 年）3 月以降（1 年間）

（実際の派遣日程は、マッチングの状況、受け入れ機関の意向、健康診断やビザ発給等の手続き等により各派遣案件によって異なり、派遣時期が令和 2 年（2020 年）夏頃までずれ込む可能性もあります）

※10 月中旬に合格者会合及び国連機関東京事務所の方々によるプレゼンテーションに参加する機会を設ける予定です

#### 2. 研修内容

＜国内研修＞：日本国内及び海外の講師・ファシリテーターによるワークショップ中心の平和構築・開発に関する研修（英語で実施）（別紙 1-1 参照）

＜海外実務研修＞：平和構築・開発の現場で活動する国連・国際機関の現地事務所等における国連ボランティアとしての実務（別紙 1-2（追って HP 上に掲載します）参照）

### 3. 研修場所

＜国内研修＞：東京都内及び広島市内研修施設等

＜海外実務研修＞：UNV が主担当として、関係機関等との協議を通じて調整し、研修先候補を収集します。研修員は、自身の専門性、資質、希望等を総合的に勘案し、研修先候補の中から希望派遣先を決定します。最終的な派遣先の決定に際しては、派遣先である国連・国際機関等による審査を通過する必要があります。

※研修員はマッチングに関する相談を HPC もしくは国連機関駐日事務所と行うことが出来ます（駐日事務所がない機関、及び、駐日事務所が相談窓口とならない機関については、調整の上別途相談先をお知らせします。その他、相談先についてご不明な点があれば個別にご照会下さい）。

### 4. 研修参加費

292,500 円

\*上記参加費は、選考の結果プライマリー・コースに参加されることとなった日本人研修員の方に納入いただきます。

\*上記研修参加費は、理由の如何を問わず返還いたしません。

\*国内研修期間中の宿泊や研修に必要な国内移動は HPC が手配します。

\*海外実務研修にかかる渡航や現地滞在にかかる手配は UNV を通じて行います（現地生活費の支給等を含む）。なお、予防接種や健康診断の受診等に係る費用については、UNV より一定額が支給されますが、それを超えた場合は HPC にて補填します（金額上限あり）。また、海外実務研修先によっては、複数の予防接種を受ける必要があり、HPC の補填金額上限を超えてかかった費用は個人でご負担いただきます。

### 5. 応募資格（以下のすべての要件を満たす者）

- (1) 今後平和構築・開発分野（法律、行政、教育、保健・衛生、後方支援（調達、IT、人事、メディア等を含む）等）において活躍する強い意志を有する者
- (2) 平和構築・開発に関連する諸分野で 2 年以上の実務経験がある者（インターンやボランティア経験等も考慮します）
- (3) 大学学部卒相当以上の学位を有する者
- (4) 誕生日が 1980 年 4 月 1 日以降、1995 年 4 月 1 日以前である者
- (5) 日本国籍を有する者
- (6) TOEFL iBT 90 点、TOEIC 900 点、IELTS 6.5 点以上もしくはこれと同等の英語力を有する者
- (7) 原則として国内研修・海外実務研修に全て参加することができる者
- (8) 研修への参加に支障がないことが想定できる者（合格者には、海外実務研修開始までに UNV 基準にしたがって、健康診断・予防接種を受けていただき、海外実務研修に支障があることが判明した場合は、海外実務研修に参加出来ません）

### 6. 募集人数

15 名

## 7. 応募書類

- (1) 所定の申込書（ウェブサイトダウンロード可）（別紙 1-3 参照）
- (2) 平和構築・開発分野における申請者自身の具体的なキャリアプランに関するエッセイ（英文 500 単語以内・様式任意）
- (3) 語学力を証明するもの  
応募締切日から過去 5 年以内に受験した TOEFL、TOEIC、IELTS 等の成績証明書又はスコアシート（コピー可。提出できない場合には語学力を証明する推薦状）
- (4) 誓約書（ウェブサイトダウンロード可）（別紙 1-4 参照）  
本募集要項に添付されている所定様式に必要事項を記入し、本人が署名・捺印して提出して下さい。

## 8. 応募方法

申込書に記入の上、原則として電子メールで下記の宛先に必要書類を提出してください。

[application@peacebuilders.jp](mailto:application@peacebuilders.jp)

ファックスを通じての提出については必要に応じて受け付けます。誓約書は署名が必要であるため、電子メールで提出する際には、署名・捺印の上、電子画像化して提出してください。また、顔写真についても電子画像化したものを受け付けます。誓約書のみファックスで送付していただいても構いません。

## 9. 応募締め切り

令和元年（2019 年）9 月 9 日（月）日本時間午前 9 時必着

## 10. 選考方法

書類選考では、平和構築・開発分野での実績と今後の当分野でのキャリアの展望、国連ボランティアとしての適性により判断します。書類選考通過者に対しては、英語による面接（於：東京）あるいは電話インタビュー等（遠方に居住の場合）を行う予定です（2019 年 10 月 2 日（水）、4 日（金）に実施予定）。また、面接の前に申込書 18. References に記載されている推薦者の方々へ所定の Reference Check Form を送付させていただきます。合否は本人への電子メール、電話、もしくは郵送等の通信手段によって、10 月上旬に通知します。

### 11. 応募書類提出先・問合せ先

〒730-0053 広島県広島市中区東千田町 1-1-61 ナレッジスクエア 1F

一般社団法人 広島平和構築人材育成センター

TEL: 082-909-2631 / Fax : 082-553-0910

Email : (応募書類提出用) [application@peacebuilders.jp](mailto:application@peacebuilders.jp)

: (問合せ用) [hpc@peacebuilders.jp](mailto:hpc@peacebuilders.jp)

URL : <https://peacebuilderscenter.jp/>

### 12. 研修員の身分

令和 2 年（2020 年）1 月 22 日（水）以降、研修中（国内・海外）の身分は、所属先の有無にかかわらず「平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業研修員（Program Associate）」となります。

なお、海外実務研修の期間中は、「国連ボランティア」の身分も持ち、UNVの規定(Conditions of Service)に基づいて任務を遂行していただきます。

### 1.3. 研修員の義務

誠実に研修を履行していただくと共に、研修期間中及び修了時には、報告書を提出していただきます。

また、海外実務研修の期間中はUNVの規定(Conditions of Service)に従い、国連ボランティアとしての義務(UNVに対する報告書の提出等)を遂行していただきます。

その後も、講師として本事業における人材育成に携わったり、後輩研修員の就職支援に協力していただいたりすることがあります。

### 1.4. 研修修了後の支援体制

内外の関係機関の協力のもと、就職に関する情報提供、修了生のネットワーク作りなど、研修修了者が平和構築・開発の現場で活躍するための支援が提供されます。

### 1.5. その他の注意事項

- (1) 国内研修中の日々の研修にかかる交通費、宿泊費以外の生活雑費や日本人研修員の研修開始地までの旅費は研修員の自己負担とします。
- (2) 応募時に提出された個人情報、本事業以外の目的では使用しません。なお、事業実施中に撮影される各写真は、外務省等により行われる本事業の広報のために使用されることがあります。
- (3) 応募書類は一切返却しません。
- (4) 募集期間中に説明会を開催します。詳細はウェブサイトをご確認ください。
- (5) 海外実務研修中はUNV基準で保険に加入していただきますが、日本とは異なる条件下で生活するという自覚を研修員一人一人が持って行動していただきたく、不可抗力による万一の事態に対してHPC及びその他実施機関または関係機関は責任を負いかねますので、予めご承知おき願います。なお、治安状況によっては派遣を延期、または中止するということもあり得ます。また、派遣中に治安が悪化した場合は、現地の状況に応じて日本又は安全な第三国に避難していただくこともあり得ます。派遣中の安全管理は、原則として国連基準に拠って行われます。
- (6) 海外実務研修に際し、扶養家族(配偶者や子女)を随伴することは認められません。この点は通常のUNVの規定とは異なりますのでご注意ください。

平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業

(外務省委託事業)

広島平和構築人材育成センター

Hiroshima Peacebuilders Center: HPC

<広島本部事務所>

〒730-0053 広島県広島市中区東千田町 1-1-61 ナレッジスクエア 1F

TEL: 082-909-2631 / FAX: 082-553-0910

URL: <https://peacebuilderscenter.jp/>

Email: (応募書類提出用) [application@peacebuilders.jp](mailto:application@peacebuilders.jp)

(問合せ用): [hpc@peacebuilders.jp](mailto:hpc@peacebuilders.jp)

広島平和構築人材育成センター（HPC）は、外務省の委託を受けて「平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業」国内研修を運営している一般社団法人です。

#### 個人情報の取り扱いについて

一般社団法人広島平和構築人材育成センター（HPC）（以下、HPC という）は、個人情報保護の重要性を十分認識し、「個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）」をはじめとして関連する法令や、個人情報保護に関するガイドラインを遵守して、HPC 個人情報保護方針に基づき、応募者の個人情報を以下のようにお取り扱いし、保護に努めております。

#### ▼個人情報の収集目的

HPC は、応募書類受領、問い合わせ対応、説明会の案内、説明会やセミナー時の応募受領、選考に伴う各機関や講師との情報共有、書類審査、研修期間前から終了時までにおける各機関や講師との情報共有、海外実務研修中の参加者の現状把握、キャリア構築支援における研修修了生の現況フォローアップや相互ネットワークの構築、各研修の総括等、本事業の運営の目的で個人情報を収集しています。

#### ▼個人情報の委託・提供

HPC は、収集させて頂いた個人情報を外務省及び国連ボランティア計画に提供することがあります。しかし、それ以外の組織と共有することはありません。HPC、外務省及び国連ボランティア計画においては、個人情報の管理、秘密保持、再提供の禁止など、個人情報の漏洩などがないよう適切な管理を実施します。外務省では、提供された個人情報を書類審査及びキャリア構築支援その他本事業の趣旨に沿った目的で利用する他、当該目的に沿って関係機関等及び令和3年度以降の事業実施団体等に提供する可能性がございます。また事業実施中に撮影される各写真は、外務省等により行われる本事業の広報のために使用されることがあります。国連ボランティア計画では、書類審査から派遣先ポスト決定までのプロセスにおいて使用いたします。

#### ▼法令・規範の遵守と見直し

HPC は、保有する個人情報に関して適用される日本の法令、その他規範を遵守するとともに、本ポリシーの内容を適宜見直し、その改善に努めます。



<別紙 1-1>

プライマリー・コース

国内研修の概要

平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業「プライマリー・コース」の国内研修では、約 5 週間にわたり 1 日 6 時間程度の講義及びワークショップを通じて平和構築・開発を実践的に学びます。全体を通じて、研修員・講師間、及び研修員間の相互交流を重視し、問題解決型学習法を取り入れた参加型の研修を設定します。高いレベルでの平和構築・開発分野での活動への理解を目指した研修を行いつつ、グループ討議や作業を取り入れたワークショップを通じて、平和構築・開発の知識を応用する技能を取得し、発展させることを狙った研修を行います。

日本及び各国の研修員（日本人 15 名 外国人 10 名）を対象として、研修はすべて英語で行い、多国籍チーム作業を行いながら、平和構築・開発について学び合う環境を作ります。

広島平和構築人材育成センター（HPC）が実施する「プライマリー・コース」の国内研修では、本事業が平和構築・開発の実務家のための人材育成事業の中心となるコースであるという点を重視して、以下の 3 つの指針を運営上の柱として掲げています。

第 1 に、国内研修では実践的な知識・技能の付与を目指します。平和構築・開発の専門家を育成するという本事業の目的に照らして、研修においては平和構築・開発に関連する政策課題、および平和構築・開発に関連する実務に携わる場合に求められる技能を、実践的な内容の研修を通じて付与することを心がけます。

第 2 に、研修全体を「Competencies（業務能力）」の向上につながるように運営することを配慮しています。「Competencies」とは、国連・国際機関が人事を実施するにあたって重視する業務遂行上必要とされる能力のことを指します。たとえば多国籍チームの環境でリーダーシップを発揮する能力などを、国際機関は重視し、人事の際にもポイントとします。研修の中で、研修員が意識的に「Competencies」を伸ばしていくことができるような工夫を施します。

第 3 に、国内研修を、平和構築・開発分野の貴重な人的ネットワークを形成するための貴重な機会として捉え、ネットワーキングの促進を重視します。特に国内において平和構築・開発分野を目指す人々の業界（専門コミュニティ）が大きいとは言えない日本人にとっては、実務家層の講師陣、活躍する事業修了生、そして志を同じくする同期生とのつながりは、かけがえのない財産となります。

時間割 1) 9:30-11:00、2) 11:15-12:45、3) 14:15-15:45、4) 16:00-17:30		
日程・場所 (予定)	内容 (予定)	講師 (予定)
1月21日(火)	(外国人研修員の到着)	
1月22日(水) (東京) 国連大学	開講式 全体ガイダンス 外務省表敬訪問 レセプション開催	篠田英朗、上杉勇司、 玉内みちる

1月23日(木) (東京) 国立オリンピック記念 青少年総合センター	自己紹介 チームビルディング	篠田英朗、上杉勇司、 玉内みちる
1月24日(金)	<静岡に移動> 陸上自衛隊駒門駐屯地訪問	
1月25日(土) (広島)	<東京→広島に移動>	
1月26日(日)	<i>Excursion to the Hiroshima Peace Memorial Park</i>	
1月27日(月) 広島アステールプラザ	<Week 1: Analysis> 平和構築の概論/国連と平和構築	篠田英朗、上杉勇司、 玉内みちる、Marshall Conley、Jomart
1月28日(火)	Theory and Methods of Conflict Analysis	Ormonbekov、Desmond Molloy、
1月29日(水)	Policy Issues in the Political/Legal Fields	Simonetta Rossi、Kwesi Aning
1月30日(木)	(peace mediation/ dispute settlement in legal institutions)	
1月31日(金)	Group Exercise: Enhancing abilities to work in a team Career Development in Political Affairs	
2月1日(土)	<i>Excursion to Miyajima</i>	
2月2日(日)		
2月3日(月)	<Week 2: Planning>	篠田英朗、長谷川祐弘、上杉勇司、
2月4日(火)	Methods of Project/Mission Planning	玉内みちる、Desmond Molloy、平
2月5日(水)	Policy Issues in the Field of Security (DDR/SSR/Peacekeeping missions)	原弘子、Paul Egunsola、大庭真理枝、
2月6日(木)	Group Exercise: Enhancing oral	Michael Emery、Anthony Duncker
2月7日(金)	presentation skills Career Development in Peace Operations	
2月8日(土)	<i>Excursion to Kure and Etajima</i>	
2月9日(日)		
2月10日(月)	<Week 3: Coordination>	篠田英朗、上杉勇司、玉内みちる、
2月11日(火)	Coordination and Negotiation among Various Organizations in the Field of	忍足謙朗、Dirk Hebecker、
2月12日(水)	Peacebuilding	Guillaume Foliot、Peter Kozelets、
2月13日(木)	Policy Issues in Humanitarian Aid (including gender or child protection)	Kyungshin Lee、John Campbell、水
2月14日(金)	Group Exercises: Enhancing skills for managing formal meetings WorkEnvironment in International	田慎一、藤原広人

	Organizations Career Development in Humanitarian Aid	
2月15日(土)	<i>CV Writing and Interview Skill Development (Optional)</i>	玉内みちる
2月16日(日)	<i>CV Writing and Interview Skill Development (Optional)</i>	玉内みちる
2月17日(月)	<Week 4: Management> Methods for Project Management	篠田英朗、上杉勇司、玉内みちる、 中村俊裕、小松原茂樹、Mamadou N'daw、John Campbell、稲葉光彦、 Philip Shetler-Jones、Edward Kingston Jombla
2月18日(火)	Policy Issues in Development Aid through	
2月19日(水)	Various Fund Schemes	
2月20日(木)	Group Exercises: Enhancing document writing skills	
2月21日(金)	Career Development in Development Aid	
2月22日(土)	キャリア構築デザイン(日本人研修員のみ)	佐藤知央
2月23日(日)		
2月24日(月)	安全管理術(外国人オプショナル)	Louise Robinson, John Campbell
2月25日(火)		
2月26日(水)	<広島から移動> 東京にて解散	

講師は昨年度実績をベースにしています。

\*講師の諸事情等により、一部内容を変更の上、実施する場合があります。

\*「Career Development」は、CVライティングやインタビューのスキル向上のための個別指導を行うことを想定しています。

#### < List of Facilitators >

- Hideaki Shinoda (Director, HPC; Professor, Tokyo University of Foreign Studies)
- Sukehiro Hasegawa (Chair, HPC Council; Former Special Representative of the UN Secretary-General for Timor-Leste; Head of the Academic Council on United Nations System (ACUN) Office in Tokyo)
- Yuji Uesugi (Program Officer, HPC; Professor, Waseda University)
- Michiru Tamanai (Managing Director, Lotus Insight Global, Pte. Ltd; Former Chief of Human Resources, UNICEF India Country Office, New Delhi)
- Marshall Conley (President, Conley-International Education Consultants; Former Senior Advisory Panel Member for the Programme Evaluations of the United Nations Department of Peacekeeping Operations [DPKO] and the Department of Safety and Security [DSS])
- Jomart Ormonbekov (Liaison Officer in Beijing, Departments of Political and Peacebuilding Affairs (DPPA) and Peace Operations [DPO])
- Desmond Molloy (Course Mentor, HPC; Programme Director, The Nippon Foundation [TNF], Myanmar Liaison Office; Former Senior Rehabilitation Adviser & Programme Coordinator, United Nations Interagency



Rehabilitation Programme [UNIRP], United Nations Development Programme [UNDP], Nepal)

- Simonetta Rossi (Peace and Development Adviser, Office of the United Nations Resident Coordinator, Sierra Leone)
- Kwesi Aning (Director, Faculty of Academic Affairs & Research, Kofi Annan International Peacekeeping Training Centre)
- Hiroko Hirahara, (Head of Field Office, Bentiu Field Office, United Nations Mission in the Republic of South Sudan [UNMISS])
- Paul Egunsola (The Chief of Staff to the United Nations in South Sudan [UNMISS])
- Marie Oniwa (United Nations Organization Stabilization Mission in the DR Congo [MONUSCO], Senior Gender and Election Advisor)
- Michael Emery (Director, Human Resources Management Division, International Organization for Migration [IOM])
- Anthony Duncker (Deputy Director, Chief of Staffing Service, Department of Operational Service, UN)
- Kenro Oshidari (Member of HPC Council; Managing Director, Association for Aid and Relief (AAR) Japan; Former Regional Director, WFP Regional Bureau for Asia, Bangkok, Thailand)
- Dirk Hebecker (12th Representative of UNHCR Representation in Japan)
- Guillaume Foliot (Private Consultant, Consultant and lecturer on Humanitarian Affairs)
- Peter Kozelets (Coordinator at the Regional Centre for Emergency Preparedness, UNHCR)
- Faye Lee (Associate Regional Director, Community World Service Asia)
- Shinichi Mizuta (Special Assistant to the Special Representative of the Secretary-General of the United Nations to the UN Assistance Mission in Afghanistan [UNAMA])
- John Campbell (Private Consultant; Former Safety Advisor, UNHCR Indonesia)
- Hiroto Fujiwara (Head, Country Analysis Unit, Division of External Operations, Registry, International Criminal Court [ICC])
- Toshihiro Nakamura (Co-Founder & CEO, NPO Kopernik / Guest Professor, Center for the study of co-design, Osaka University)
- Shigeki Komatsubara (TICAD Programme Adviser, Regional Bureau for Africa, UNDP HQ [New York])
- Mamadou N'daw (Results Based Management [RBM] and Evaluation Advisor, Team Leader, UNDP in Ethiopia)
- Mitsuhiko Inaba (Chief of Finance & Budget / Management Services, United Nations Volunteers (UNV) Headquarters)
- Philip Shetler-Jones (Community Lead, Peace and Reconciliation, International Security at the World Economic Forum)
- Edward Kingston Jombla (Regional Conflict Analyst West Africa Network for Peacebuilding [WANEP])
- Chio Sato (Head, Office Clutch)
- Louise Robinson (Director, InSiTu Training; Former Emergencies Project Manager, "WFP in Emergencies" & Global Staff Safety and Security Program, WFP, Rome)

Annex 1-2  
Primary Course  
Summary of Overseas Assignment (UN Volunteer assignment)

Overseas assignment of the Program for Global Human Resource Development for Peacebuilding and Development (Global Peacebuilders Program) is administered by the United Nations Volunteers (UNV) programme. Program Associates will be deployed to UN partner agencies as UN Volunteers for the duration of one year to work in the field of peacebuilding and development. While the deployment process including the identification of assignments, recruitment, pre-departure arrangements, volunteer management during the assignment and repatriation is administered in accordance with UNV rules and regulations, the following unique process is adopted as part of UN Volunteer assignment component of the Program.

**Overseas assignment through UN Volunteer assignment**

Although UN Volunteer assignments will enhance knowledge and professional skills of the Program Associates, the UN Volunteer assignment itself is not a training. Each Program Associate is therefore expected to contribute to peacebuilding through his/her own expertise as a professional in the form of volunteering. Hosting UN entities expect the Program Associates to perform their assigned duties in a professional manner.

UN Volunteers are deployed to directly work with UN agencies to support vulnerable population including refugees, women, children and people in conflict areas. Activities include support to socially excluded groups to participate in the peacebuilding and development planning process, protection and assistance to people exposed to risks, and the strengthening of public administrative capacity to meet the basic needs of vulnerable groups. With the basic principle of contributing to peacebuilding, peacekeeping and development through the promotion of volunteerism, UN Volunteer assignments support areas including the following (list is not exhaustive):

- Humanitarian assistance and strengthening of basic services to vulnerable groups
- Crisis prevention and recovery
- UN peacekeeping missions
- Capacity development of public institutions
- Environment and climate change

**Sample of assignments**

**Crisis prevention and reconstruction**

- Prevention of violent conflict, national capacity development for reconstruction
- Capacity development of community members in negotiation and mediation
- Promotion of community members' participation to communication campaign for peace
- Community security, promotion and monitoring of human rights and rule of law

**Humanitarian assistance and strengthening of basic services to vulnerable groups**

- Protection and promotion of human rights for refugees and victims of conflicts and sexual violence
- Support to social reintegration of former combatants, displaced persons and vulnerable groups

- Youth leadership in communities, participation in decision-making, conflict resolution and social development

#### UN peacekeeping missions

- Support to mission activities in key areas (protection, rule of law, security sector reform, civil affairs, DDR, natural resource management, etc)

UN Volunteer assignments are selected through collaboration between UNV, Ministry of Foreign Affairs of Japan (MOFA) and **Hiroshima Peacebuilders Center (HPC)** based on the needs of UN partner agencies in the field including UNDP, UNHCR, UNICEF, WFP, IOM, and UNPKOs.

Assignments are approved based on the following factors:

- International cooperation policy of the Government of Japan and UNV's strategic priority areas
- Security of Program Associates in deployed duty stations based on the security standard of the Government of Japan
- Supervision and support structure at Host Entities
- Distribution of volunteers by UN Entities and region/country

#### Selection of assignments and matching process

- Potential assignments are selected and approved in advance to the selection of shortlisted candidates.
- A list of potential assignments is shared with shortlisted candidates that pass the written assessment, so that they can check availability of assignments of their interest.
- In mid-October, briefing by Japan offices of UN Agencies are planned for selected Program Associates.
- After this, Program Associates can apply to assignments. Program Associates may consult with HPC or Japan offices of UN Agencies as needed (In case a Program Associate wishes to contact an agency which does not have a Japan office or one, of which Japan office is not in the position to provide consultation services, an appropriate focal point of the agency will be identified through necessary coordination. Program Associates can make inquiries on such focal points of potential Host Agencies). However, it must be refrained that Program Associates contact directly the Host Entities (offices which Program Associates might be assigned to) for which the Program Associates are interested.
- UNV will ensure that designated Program Associates' profiles match with requirements of the assignment, and in case the assignment does not match, would propose an alternative with a better match.
- UN Host Entities will confirm the selection of Program Associates through interview (or desk review as an option). If more than one Program Associate opt for the same assignment, selection will be a competitive process. Matching will be completed upon positive interview results and acceptance by Host Entity as well as confirmation of the Program Associate's medical condition.
- If the process is unsuccessful, Program Associate will apply for another post, and repeat the process.
- In principle, assignments selected for the Program are shown for the Program only. However, in the case of assignments with UN peacekeeping missions, the selection of Program Associates

will be conducted as per the regular processes for UN Volunteers including candidates other than Program Associates.

### **Deployment period of overseas assignment**

The deployment is expected following the completion of coursework in Japan after March. The actual date of deployment may vary by assignment depending on status of matching, intentions of Host Entities, and processes for predeparture preparations.

### **Status of Program Associates during overseas assignment**

- Program Associates will carry out assignment as international UN Volunteers. International UN Volunteers are not UN staff members and are administered based on the Condition of Service (Condition of Service).
- International UN Volunteers are provided with travel entitlement for assignment and repatriation, assignment grant, volunteer living allowance including accommodation supplement in some locations, insurance and resettlement allowance.
- While it is allowed by UNV's regulations, UN Volunteers in this Program will not be able to take their dependents to the duty station as per the policy of the Government of Japan for this Program.